



# フレンズ

山梨県立かえで支援学校相談・支援通信 第60号 平成27年10月16日発行

※「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

## 平成27年度前期(4月~9月)センター的機能実績報告

### ◎オープンスクール・夏休み授業体験会関係



○オープンスクール 277人 <前年比+93人>  
 <小中学部> 174人(幼児児童・保護者・通園施設職員・担任等) 内 関係機関 46人  
 <高等部> 103人(生徒・保護者・担任等) 内 関係機関 32人

○夏休み授業体験会 140人<前年比+38人>(幼児児童生徒・保護者・担任等)  
 \*体験者55名(前年比+11人)<年長:27 小6:12 中3:16>

- ・ここ数年、中学部と高等部への進学関係の方の参加者が減少してきているため、今年度は関係機関(放課後デイサービス等を実施している事業所や企業)へオープンスクール開催の通知を配付したところ、非常に多くの方に参加していただきました。小中学部と高等部の両方に参加して下さった方もおり、本校の教育への関心の高さと日ごろの連携の必要性を改めて感じました。
- ・夏休み授業体験会は、昨年同様に幼児の体験者が多かったです。また各学部とも他校への進学も検討している方が多く、様々な学校で相談や体験をする中で、進学先を決定していこうという保護者や在籍校の意識が高まってきています。

### ◎教育相談 81回 <前年比-10回>



○学校見学・相談 7回(幼保2 小5)  
 ○来校相談 43回(幼保14 小13 中15 教員1)  
 ○電話・メール相談 2回(幼2)  
 ○プレスクール 3回(幼保1 小1 中1)  
 ○継続教育相談 26回(年長児11 年中児14 年少児1)

- ・桃花台学園への相談体制の変更や中学部高等部への外部からの進学希望者の減少に伴い、教育相談が減少しました。
- ・幼児の個別課題学習体験は、今年度より継続教育相談と名称を変更しました。幼児期からの保護者の障害受容が進んでいますが、それに反して療育機関や継続相談できる専門家の不足を感じます。

### ◎訪問相談・支援 42回(103人) <前年比-10回 -20人>\*人数は のべ人数

○甲府市特別支援教育専門家チーム巡回相談 4回  
 ○特別支援教育専門家活用 3回  
 ○訪問相談・支援 35回  
 <<内訳>> 幼保13回(5園 54人) (+14人)  
 小20回(16校 50人) (-18人)  
 <通常の学級27人(-33人)、  
 支援学級23人(+15人)>  
 中2回 (2校2人) <通常の学級1人、支援学級1人>

- ・甲府市の巡回相談は小学校入学にかかわるもので、幼稚園・保育所への訪問が増加しました。
- ・小学校への訪問支援は、通常の学級が減り、支援学級が増加しています。どちらも困難ケースが増加傾向にあります。
- ・例年と同様、中学校からの相談が少なく、高等学校からは本校への相談はありませんでした。

### ◎研修支援 10回 <前年比-5回>



○校内研究会・研修会のサポート、講師 2回(小学校1 療育施設1)  
 ○連携機関関係研修会の講師 2回(病院2)  
 ○教育関係諸団体のサポート、講師 2回(支援学級研究会等)  
 ○かえで合同学習会<相談支援部、研究部、進路指導部主催> 4回

学校の校内研修会の講師依頼が少なくなっています。合同学習会への参加者は、増加しています。

★「フレンズ」のバックナンバーを、ぜひHPでご覧ください。  
◆◆◆ この通信に関するお問い合わせは ◆◆◆



山梨県立かえで支援学校  
相談・支援部 (飯嶋)

かえで支援学校

検索

甲府市東光寺2-25-1(〒400-0807)  
TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356  
URL <http://www.kaedey.kai.ed.jp/>  
E-Mail [sodan@kaedey.kai.ed.jp](mailto:sodan@kaedey.kai.ed.jp)  
(相談・支援部専用アドレス)



# 第15回かえで祭のお知らせ

「今、ふみ出そう！！仲よしフレンズ」のテーマのもと、第15回かえで祭が開催されます。多くの方に、児童生徒の日ごろの学習の成果を見ていただきたいと思います。また園や小中学校の先生方の来校もお待ちしています。卒園生・卒業生の成長した姿に、ぜひ声援を送っていただければと思います。



学部ごとに  
工夫を凝らした舞台発表

手作りの手芸品やお菓子、  
陶芸品などの販売



授業で取り組んだ  
造形作品などの展示

…などなど

今年も盛りだくさん！

日時：平成27年11月21日（土）、22日（日）

場所：山梨県立かえで支援学校

内容：



## <21日（土）>

9:20 開祭式

9:35 小学部学部発表 中ブロック（3,4年）「こぶたのおうち」  
低ブロック（1,2年）「どこでもトンネル♪」  
高ブロック（5,6年）「ぼくらはちいさなかいぞくだ」

10:45 中学部学部発表 1年生「どんぐりと山猫」  
2年生「富士山が見たい！」  
3年生「2015 かえでオリンピック」

13:00 お祭り広場（PTA模擬店・中学部生徒の製品販売・ゲーム屋さん等）

## <22日（日）>

9:30 高等部学部発表 1年生「仲間探しの旅に出かけよう～ワンピース～（出会い編）」  
2年生「水戸黄門」  
3年生「ライオンキング～最終章～」

12:50 お祭り広場（PTA模擬店・高等部生徒の製品販売等）

14:20 閉祭式

\*両日とも、9:30～14:10に児童生徒の図工や美術等の作品展示もご覧いただけます。

## 「第10回かえで支援学校作品展」

期間：平成27年12月15日（火）～24日（木）※月曜は休館日です

場所：甲府市立図書館1階 展示室

☆児童生徒の絵画、版画、工作、工芸、陶芸、書道、作文等の作品を  
展示します。ぜひ、ご覧ください。



◆◆◆◆◆お問い合わせは下記まで◆◆◆◆◆

山梨県立かえで支援学校 相談・支援部（飯嶋 いいじま）

甲府市東光寺2-25-1 TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356

URL <http://www.kaedey.kai.ed.jp/>

メールアドレス [sodan@kaedey.kai.ed.jp](mailto:sodan@kaedey.kai.ed.jp)（相談・支援部専用）



# かえで支援学校高等部に入學するには・・

## 高等部入學までの流れ

### 学校選択 (見学・相談・体験等)

○教育相談 (進路選択のための相談)・学校見学 (オープンスクール参加が学校見学になります)・授業体験をし、本人にあった学校選択の参考としてください。

★不登校傾向・重複障害・療育手帳未取得・集団授業を受けていない等の生徒は、すぐに相談の予約を入れてください。

療育手帳を取得していない生徒は  
総合教育センターにて諸検査実施

説明会の申し込み締め切りは**10月30日**です。詳しいことや申込用紙は、本校ホームページにアップしてありますので、ご覧ください。

### 入学者選抜事務説明会：11月14日(土) 10時～11時30分

\*保護者と学校の出席をお願いします。学校への事務的な説明会は今回限りです。  
願書等の出願書類はこの説明会で保護者に直接お渡しします。  
中学校経由ではお渡ししませんので、必ず保護者も出席してください。

#### 願書提出のための **教育相談**

\*本校受検の最終的な意思確認をします。

本人、保護者、担任で11月17日～12月28日に来校してください。相談日の予約は、11月14日から受付ます。

### 願書提出 <平成28年2月12日(金)～2月18日(木)> 土日は除く。

\*午前9時～午後4時。最終日は午前だけの受付。提出はお早めに!

### 入学者選抜検査 <平成28年3月3日(木)>

\*午前8時30分～12時予定。 <国語・数学・面接検査・生活動作検査>

### 入学許可予定者発表 <平成28年3月11日(金): 11時>

### 入学説明会 <平成28年3月15日(火)>

\*桃花台学園の受験希望者で、本校への入学も検討される生徒の保護者は、11月14日の入学者選抜事務説明会に参加し、願書等の出願書類を受け取ってください。また、調査書等の記載内容、提出書類等についての説明は、この会でしか行わないので、学校の出席もお願いします。



# かえで合同学習会報告

- 日時：2015年8月25日（火）13:00～15:00
- 場所：かえで支援学校 食堂
- 講師：淑徳大学発達臨床研究センター 池畑美恵子 助教授
- 講演テーマ：「感覚と運動の高次化からみた子どもの理解と支援」



## <内容>

### 1 感覚と運動の高次化理論とは、

子どもの発達を、

- ①感覚と運動のつながりを土台（出発点）とする質的な変容のプロセスでとらえ、
- ②そのプロセスにⅠ層→Ⅱ層→Ⅲ層→Ⅳ層という区切りをつけて整理し、
- ③それぞれの層の子どもはどのような姿を示し、いかなる支援や教材が有効であるかを検証した理論。

### 3 感覚と運動の高次化理論における発達水準

#### Ⅰ層 初期感覚の世界

初期感覚が優位/感覚的、生理的、受動的な自己

#### Ⅱ層 知覚の世界

目や耳の育ち/自己と外界の分化

#### Ⅲ層 象徴化の世界

イメージとことばの育ち/関係の相互化

#### Ⅳ層 概念化の世界

ことばや記号操作を通じた思考の形成/自我、自己像の育ち

### 5 Ⅰ層 初期感覚の世界

**特徴**：まだ目や耳を上手に使うことや自分の姿勢や運動を組み立てることが苦手。自己刺激的な遊びが多い。

**揺れ・関節への刺激>触覚>耳>目**

**発達を捉える視点**：①各種刺激の受け止め方（過敏性の有無。受容している時の表情・行動の読み取り）

②手の使い方や姿勢。③始点-終点の理解。④教材や楽器などの操作と結果の因果関係。

**支援と留意点**：①教材・教具の工夫のもとに、手を使うことと、**終点の理解**を形成することが能動性を高める第一歩。（光と色、振動、音、重み、適度な抵抗感、**ぴったり感の活用**）②感覚の受容を高めるための**シンプルな環境設定**。③支援のスタートは、**微細なサインの読み取り**や発達や特性等の原則理解。④**覚醒状態**や**感覚過敏**への配慮と対応。⑤**肘を机につけ物**を触る、前を見る。姿勢保持ができるように配慮。

### 7 特別支援教育における合理的配慮

・合理的配慮の要は教材・教具。

→子どもにとって分かりやすい。手や目を使う活動を引き出しやすい。見てもらえる、ほめてもらえる、分かるから応じられる。子どもが外界をどう理解しているか、何につまずいているかを具体的に把握できる。

### 2 発達のとらえ方

- ①水準と個人内差を手がかりとして発達の全体像をおさえる。
- ②知恵、自己像、情緒、姿勢・運動の4領域の絡み合いでとらえる。

**※特に、知恵（認知）の育ちが自己像や情緒の発達と深く関連している。**

### 4 層・ステージの考え方の背景

#### ①発達の構造化

発達は「できることが増えること」ではなく、ある水準・ある段階での認識の特徴が質的に変化をする過程として考える。

#### ②発達の順序性

上記のような質的变化は一定の順序をもって育つと考える。

#### <参考文献>

宇佐川浩「障害児の発達臨床Ⅰ」  
学苑社,2007

宇佐川浩「障害児の発達臨床Ⅱ」  
学苑社,2007



### 6 Ⅱ層 知覚の世界

**特徴**：目や耳を使うことが上手になり、教材に向かいやすくなる。人に合わせる姿勢が育つ。模倣の出現・広がり。要求や拒否、好き嫌いの拡大。

**発達を捉える視点**：①**大人と向き合って座ること**。

②**弁別レベル**。大人の指示に応じた弁別。③**模倣**や**指差し**の理解・表出。④**意思伝達**の手段。⑤**イメージ機能**の芽生え。（ごっこ遊び等）

**支援と留意点**：①**大人と向き合い座ることが**、すべての学習の基礎。（**終点の分かりやすい教材**は向き合いやすい）→子供の好きな教材を用いて、**教授法の工夫**により、学習効果を高める。②**見分ける**、**覚える**、**分ける**、**まねる**学習を丁寧に。③**個人内差**が大きくなるため、**アセスメント**の重要性が増す。④**情緒不安**への積極的介入。（**固有感覚**への刺激を意識した情動調節、パターン処理に「揺らし」をかけ、**折り合い**をつける経験）⑤**関係性の発展**に伴う難しさを理解する。（拒否やからかいには**距離を置いた対応**）

**※ 教材を通して、小さなことから折り合いをつけていく。→予後が変わってくる。**

## <おわりに>

今回の池畑先生の講義は、宇佐川先生の「感覚と運動の高次化理論」をもとにした内容でした。Ⅰ層、Ⅱ層が中心でしたが、具体的な教材や映像もあり、大変参考になりました。型はめ教材を取り上げた教授法の工夫の話では、教材学習がコミュニケーションの基礎学習となり、折り合いをつけながら対人関係を育てていくことなどを学びました。教材の工夫ももちろんですが、教授法の工夫により、学習効果を高めていく視点も大切にしたいと思えます。